

## 2022年度 女子サッカー部 メンバーインタビュー

スローガン 一昇

部員数	21～40人	主な成績
所属学群	体育専門学群, 人間学群, 生命環境学群, 理工学群, 医学群	2021インカレ 第3位 2021関東大学女子サッカーリーグ1部
練習場所	筑波大学第一サッカー場、筑波大学セキショウフィールド	2021皇后杯本戦 1回戦突破

押鴨 叡(理工4年/主将)  
朝倉 陽菜(体育2年)

### — 私が目指す「サッカー」

押鴨

チームとしても、それぞれ個人としても、より上へ行くために「一昇」というスローガンを掲げています。女子サッカー部には、色々なレベルの選手がいるので、組織力で勝つチームを目指しています。

朝倉

自分のワンプレー・ワンアクションで試合を変えたり、勝利を決定付けられる選手を目指しています。また、自分の良さもそうですが、チームメイトそれぞれの良さを引き出せるようになりたいと思っています。



(写真: 主将/押鴨さん)

## — 筑波大学をどう思っていた？

### 押嶋

高校生の時に練習会に参加し、チームの雰囲気や先輩方がとても良い印象でした。その時に話を聞いたところ、勉強とサッカーを両立している人が多く、自分も両方頑張りたいと思っていました。自分の理想像と合う大学は筑波大学しかないと思ったので、進学を決意しました。

### 朝倉

筑波大学は選手として、人としても成長できるイメージがありました。競技だけでなく、栄養やトレーニングのサポート、大会の運営や子どもたちへの指導、多方面からサッカーに関われる環境に魅力を感じていました。

## — 今のチームで学んだこと、チームの好きなおところ

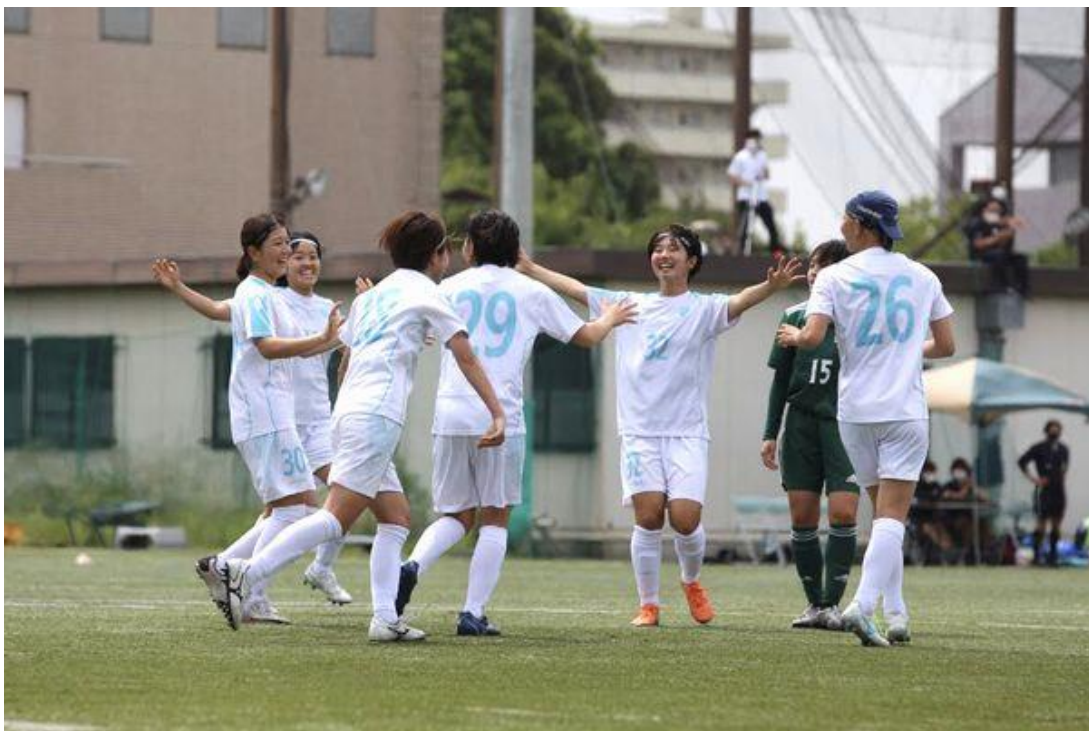
### 押嶋

チームが勝つために考えて行動することの大切さを学びました。プレーはもちろんですが、例えば運営などサッカー以外の部分も重要であることにも気付きました。正直、今までは競技だけと思っていた部分があったので、チーム全員で勝つことに気付けたのが大きな学びでした。

### 朝倉

学んだ事は、自分の考え方や行動次第で自分を良い方向に変えられることです。今置かれた環境を理解し、自分自身にベクトルを向けて行動し続けること、そのようにすることで、過去の自分と比べて見れるものや得られるものが変わったと思います。

チームの好きなおところは、いろんなバックグラウンドを持った選手がいる中、それぞれが主役になれる場があり、お互いを尊重し合えるところです。



## — これからの目標(直近の目標、人生の目標)

### 押嶋

チームとしては、「インカレベスト4」を目指しています。  
個人としては、大学院に進学します。今までサッカーに打ち込む時間が多かったので、大学院では研究に打ち込みたいです。ですが、スポーツが大好きなので、卒業後は研究したこととスポーツを組み合わせた仕事をしたいと思っています。

### 朝倉

卒業後もサッカーを続けたいので、なでしこリーグ・WEリーグに挑戦したいという思いがあります。その後は、小さい頃から教員になりたいという夢があるので、教員になって女子サッカー普及のために活動をしたいと思っています。

## — 未来のチームメイトに一言

### 押嶋

自分は筑波大学の女子サッカー部に来なかったら後悔していたと思います。それくらい今は最高の環境にいます。それは競い合いながらも、支えてくれる周りの人のお陰だと思っています。競技力の高い選手だけいる訳ではなく、色々なレベル、バックボーンを持った選手がいる中でトップを目指せるのは筑波大学女子サッカー部の魅力だと思うので、ぜひ来てほしいと思います。

### 朝倉

4年間でできる経験は絶対に社会に出て役立つと思っています。そして、人としても成長でき、自分の良さを引き出してもらえる場でもあります。入学するのは難しいかもしれませんが、それを乗り越えると、筑波大学でしか経験できないことがたくさんあるので、ぜひ来てほしいです。

